

(報告第7号について事務局及び交通政策分科会長より説明)

- 委員 目標2の誰もが安全安心で外出しやすいまちについて、全ての障害者にとって外出しやすい方法の実現に向けた環境整備を行うと記載されているが、現在困っている方が多く、不満が多い中で実現不可能なことを記載しているように感じる。
- 事務局 本計画の考え方として、すべての方が外出しやすいということで、交通弱者といわれる高齢者、障害者、子育て中の方についても、課題を整理し取り組んでいきたいと考えている。表現は内容と整合を図りながら調整する。
- 委員 バスを利用する中で、市内を南北に行動するのは困難だと感じている。本計画では、駅近くに住んでいる人は比較的行動しやすく、駅から離れたところに住んでいる方は高齢者が多いと記載されているが、公共交通だけではなく、介護事業者が送迎を行っていたり、民間事業者が買い物を支援の取組を行っていたりもするので、それらの事業者も含めて連携することで、誰もが安心できる交通の確保につながると思う。
- 事務局 交通需要が減ってきており、バスの運行に関しても厳しい状況であると事業者から聞き取りしている。しかし、高齢者が駅から離れたエリアに住んでいるというデータもあるので、例えば企業の送迎バスなど、民間事業者のサービスなどの活用も検討したい。事業者と意見交換しながら計画を策定していく。
- 委員 夕方の時間帯には駅前でもタクシーが停まっておらず、連絡してもすぐに来ない。確認してみると、タクシーの運転手の多くが朝から夕方までの勤務であり、高齢者のため夜は運転できないとのことである。少子高齢化が周辺地域でも突出して高いため、交通弱者であるタクシーに乗る人もタクシーを運転する人も高齢者であるという実情を踏まえながら進めていただきたい。
- 事務局 担い手不足については、事業者の方から課題であるとしてご意見があった。本計画ではハード面だけでなく、職業体験のようなソフト面でも担い手を増やすような取組を含めて記載できないかと検討している。
- 委員 道路事情を考慮する必要がある。例えば、介護の車が集まる交差点や連携の悪い信号がある交差点などの視点も計画に記載するべきではないか。
- 事務局 総合交通計画という大きな計画の中では、具体的な対応や個別具体的な内容を記載することは難しいが、大きな方向性は、関係者と意見交換していきたいと考えている。
- 委員 自転車の利用環境の向上について、駅周辺の駐輪場を整備していたり、自転車専用道路の整備をしたりしているが、今後の計画があるのならば教えてほしい。
- 事務局 自転車専用道路や自転車レーンに関しては、自転車ネットワーク整備方針を別に定めている。現状のデータを分析しながら、本計画では大きな考え

方を記載し、個別計画と役割分担しながら進めていこうと考えている。

以 上